

英語は学生時代に徹底的に勉強しよう
—一生使える英語学習方法の基礎知識—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. 英語は小学5・6年のときから、勉強ははじめましょう。

中学1年生から英語を勉強しはじめる国は、日本以外にほとんど見当りません。ほとんどの国では、小学2年生から外国語である英語を、「学校」で正式に教えはじめています。語学の勉強は、早ければ早い程よいことは誰もが認めるところですが、日本の場合何故か中学1年生からと、遅すぎます。文部省では、いくつかの実験校を指定してようやく最近になって小学生への学校での英語教育を研究し始めましたが、全国の小学生全員に英語を教えるのは何年後かは、明らかになっていません。そこで、是非、開倫塾等の民間教育機関で小学生は英語を勉強することをおすすめします。

開倫塾の小学英語クラスは、開倫塾が創られた14年前からスタート。毎年改訂がおこなわれている開倫塾のテキストに基づいて計画的に行なわれています。毎回の授業ごとの確認テストや家庭学習、毎月の月例テストまで準備されている小学英語クラスは、他に類を見ません。文法や書き取りもしっかり毎回実施していますので、お遊びでない本物の実力が身につく、中学1年生になってそのまま開倫塾で英語を継続すれば必ず4又は5が通知票で取れる内容となっています。どうか歯をくいしばって小学生から開倫塾で英語を勉強して下さい。

2. 中学・高校時代には「会話」だけでなく「文法」と「作文」と「長文読解」を勉強の中心にすえよう。

「日本人はいつになっても英語が話せない、その原因は中学・高校時代に文法や読解ばかりやっていて会話をおろそかにしたからだ」との反省のもとに、最近の中学・高校の英語の教科書は「会話」が中心となり、授業も、発音練習や会話の練習時間が大幅に増加しました。それは、それで非常に意義深いことですが、だからといって学校での英語の授業時間が増えたわけではありませんので、その分、文法や作文・長文読解の時間が大幅に減少したといえます。

世界の人々とコミュニケーションをはかるにあたってどの程度の英語力をもって十分かは余りはつきりとはわかりませんが、中学や高校で習うべき文法事項や構文・単語くらいはすべて口をついて出、完全に書けなければまずいと考えます。又、中学や高校の教科書に出ている位の文章は日本語の文章とほぼ同じスピードで読めなければ、学生相応の十分な英語力が備わったとは言えないと信じます。そこで、多くの授業時間が会話やコミュニケーションにむけられたための学校で十分に勉強できない文法や英作文・長文読解は「意識的に時間をとり」自分自身で身につけておく必要があります。

開倫塾では、高校入試や大学入試にも十分対応できるだけの文法力・作文力・長文読解力も生徒の皆さんに備わるようカリキュラムを練り上げ、教材や教え方ばかりでなく毎回の授業の確認テストや月例テストにも工夫をこらしてします。学校で余り時間を割かなくなった分、開倫塾で十分補いますので、どうか安心してついてきて下さい。

3. 学校や塾で教わる以外にも英語の勉強の方法を自分でも工夫しよう。

開倫塾の最終的な教育目標は一人ひとりの生徒の「自己学習能力を育てる」ことにあります。開倫塾の塾生である今から、自分なりの勉強方法を、是非、英語についても身につけて、一生のものにしてもらいたいと希望します。以下、いくつか、皆さんが今日からでもできることをお伝えしますので、気に入ったものから、どんどんチャレンジしてみてください。

英語で歌を歌う 好きな歌手やグループが英語で歌を歌っていたら、歌詞カードを拡大コピーして、最初はそのコピーを見ながら何十回、何百回もテープや CD といっしょに歌を歌ってみよう。意味が知りたくなったら、辞書をひいたり、塾や学校の先生にきいてみよう。見ないで歌えるようになったら、カラオケに行って歌ってみよう。

英語の絵本 をたくさん読もう。少し大き目の本屋さんには、英語の絵本がたくさん売っています。一か月に1～2冊は英語の本を買ってきてじっくり読んでみよう。小さな声を出して読んでみよう。絵本がよく読めるようになったら、英語の童話や短かめの本も是非手元において折りにふれて開けて読んで下さい。

*少し英語好きの友だちにはお誕生日のプレゼントに英語の絵本をあげるとよろこばれますよ。

英語で日記 を書こう。正確な文章にならなくてもいいから、英語で日記を書こう。他人に見せるものでないから、単語しかならなくても自分でわかれば十分。日付と、天気と、今日やったこと、今日少し感じたり、考えたこと、読んだ本の題名やちょっとした感想など。難しいことを書こうと思わないで毎日気楽に一行でもいいから書くこと。2～3日休んでも気にしないで又書きはじめることも大切。休み休みでもいいから、一年間英語で書けたら、あなたはもう英語大好き人間で国際人です。

英語の映画 をたくさん見よう。好きな映画をビデオ屋さんで借りてきてみるのが一番手取り早い(ただし、お金がかかる)。私はバック・トゥー・ザ・フューチャーの第一部はもう5回も見てしまいました。何度かつづけて見ているうちに気に入った表現があったら、カードに書いて覚えてしまうとおもしろい。

国際交流協会等 に入り、そこに来ている外国の人と実際に英語を話してみよう。各市町村には、正式な形での国際交流協会がずい分とできてきました。私は、足利日仏協会と足利市国際交流協会に入会させて頂き時々外国の方とお話ししていますが、小中高生でも、各市町村の国際交流協会には入会できますので、保護者の方の承諾をえた上で積極的に参加されることをおすすめします。学校の中にある**英語部(English Speaking Society)**に参加するのもおもしろい。**YMCA**もとても有意義です。

テレビやラジオの英語番組 もどんどん見て下さい。音声多重型のテレビや、衛星放送が受信できるテレビがあれば英語でニュースが聞けます。少し英語が好きな中学高学年や高校生には絶好の勉強教材となります。NHK のラジオやテレビなどでやっている英会話や英語の教養を高めるための番組も非常に役に立ちます。**放送大学** の番組もテキストを大き目の本屋さんで買い求め予習さえやれば高校生でも十分理解できます。ビデオやテープでくりかえし復習すればテレビやラジオだけでもアメ

リカに留学したと同じくらい力がつく日本の状況です。

英字新聞・英語の雑誌 もどんどん読んで下さい。高校生でも読める新聞として The Student Times や Asahi Weekly があります。週刊の雑誌の News Week には日本語版も出ています。自宅でとるのが大変なときは図書館で週に 1 回、目を通して下さい。TIME や ECONOMIST もとてもためになります。

お小使いがたまったら海外旅行へ おみやげさえ買わなかったら、海外旅行は国内旅行よりはるかに安く上がります。保護者の方と十分話し合った上で何年に 1 回かは、海外に出かけてみると世の中の見方が幅広くなります。